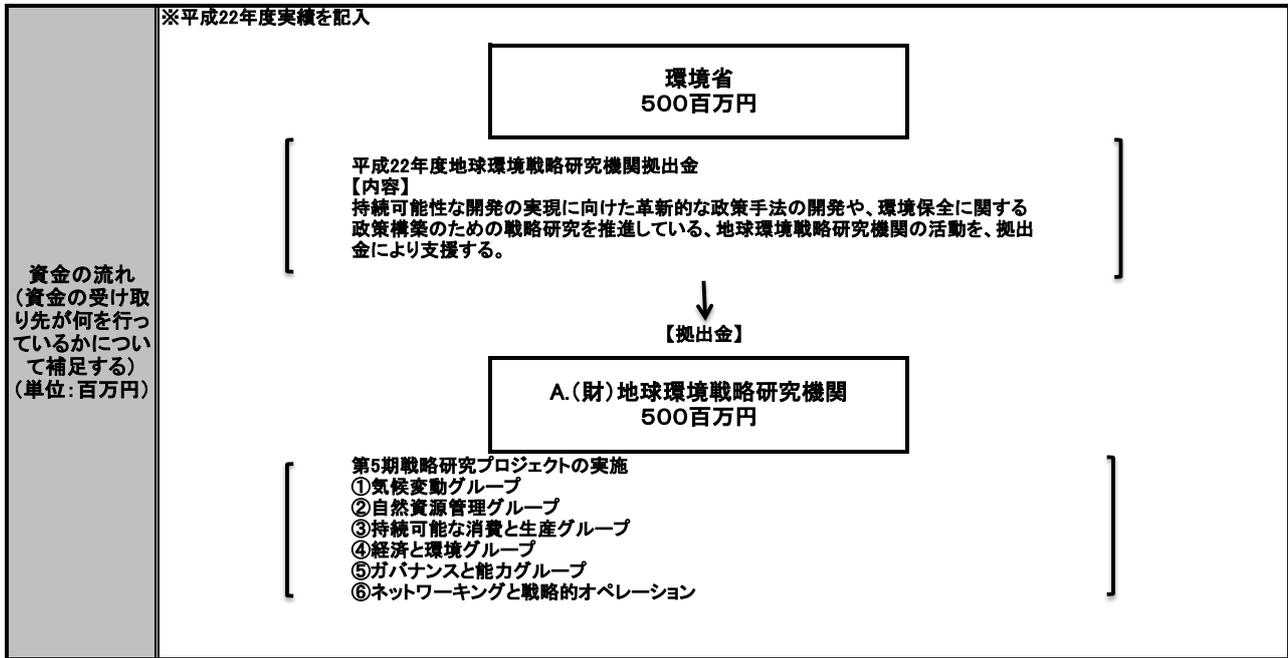


行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地球環境戦略研究機関拠出金	担当部局庁	地球環境局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度・(終了予定なし)	担当課室	総務課研究調査室	室長 松澤 裕				
会計区分	一般会計	施策名	2-3 地球環境保全に関する調査研究					
根拠法令(具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>・地球環境研究戦略機関(IGES)は、国連環境開発特別総会(平成9年6月)における政府代表演説において「地球環境戦略研究機関による戦略研究の国際的ネットワークづくりを支援する。」旨表明に沿って、10ヶ国の行政機関、4つの国際機関、21の国際的研究機関の署名による設立憲章に基づき、平成10年3月に発足した。</p> <p>・我が国政府の地球環境保全への国際的貢献策として位置づけられた我が国の顔が見える国際的研究機関の活動を支援する事を通じ、国際的な環境政策の発展及び持続可能な成長に貢献していくことを目的とする。</p>							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>・IGESでは、これまでの活動により築いたネットワークや知名度も活かしつつ、顕在化する環境危機に対してより迅速に取り組み、アジア太平洋地域の途上国をはじめとした各国政府、国際機関の環境政策に採用されるような研究成果を提示していくこととしている。さらに単なる研究のみならず、政府間の情報交換の促進や政策形成の支援といった、民間では実施できない高度な公共性および国際性を要する業務を進めている。</p> <p>・このような活動を行うアジア太平洋地域唯一の国際的環境政策研究機関として、アジア太平洋地域の持続可能な開発に向けた取組みに貢献する研究をリードするため、拠出金により支援するものである。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	550	550	500	500	500	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	550	550	500	500	500	
	執行額	550	550	500				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	国際ネットワーク事務局等への指定実績のみ記載。		成果実績	指定数	7	11	12	—
			達成度	%	—	—	—	
	他の国際機関等との協定締結実績のみ記載。		成果実績	提携数	12	13	22	—
達成度			%	—	—	—		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	論文発表、国際会議等の開催、発表、データベースへのアクセス件数		活動実績(当初見込み)	件数	607,588	737,402	836,933	— ( ) ( )
単位当たりコスト	0.598(22年度) 0.746(21年度) 0.905(20年度) <small>(千円/国際ネットワーク事務局等への指定、他の国際機関との連携締結、論文発表、国際会議等の開催・発表、データベースへのアクセスの件数)</small>		算出根拠	平成22年度実績にかかる単位あたりのコストについて (平成22年度アウトカム+平成22年度アウトプット)/平成22年度決算額 注:このコスト指標はコスト効率性を正確に表現していない。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構等拠出金	500	500					
	計	500	500					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目 状 ・ 予 算 の 状 況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資 金 の 流 れ ・ 費 目 ・ 使 途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活 動 実 績 ・ 成 果 実 績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	<p>平成21年年度の行政刷新会議第1WGによって行われた(財)地球環境戦略研究機関拠出金に対する事業仕分けを受け、事業内容については高い評価を得たものの管理的経費節減の余地があるとの指摘により、平成22年度同拠出金予算については、平成21年度比5,000万円減の5億円になったところであり、平成22年度においても民主党行政刷新PT各WGにおいてもヒヤリング対象となったが、事業内容について高い評価を得るとともに、平成21年度行政刷新会議第1WG仕分け結果に対する努力を評価され、平成23年度同拠出予算についても要求と同額の5億円になった。</p> <p>今後、平成23年度においてIGESでは、第5期戦略研究プロジェクトを確実に実施するため、研究の計画、実施、事後の評価を引き続き実施していくとともに、管理費の徹底的な削減等を定めた「経費節減実行計画」を策定して、研究の質の維持・向上を図りつつ、徹底的な無駄の排除と更なる管理的経費の節減及び効率的な研究活動の実施を図ることとし、環境省ではその実施状況を把握に努めていく。他方で韓国、中国の台頭により、優秀な実践的研究者が流出する可能性が高まっており、IGESに対する支援の在り方を再構築する事も必要になってきている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現 状 通 り	アジア太平洋地域の持続可能な開発に向けた取組み等について、引き続き、必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成21年11月26日、行政刷新会議第1WGによって行われた(財)地球環境戦略研究機関拠出金に対する事業仕分けを受け、事業内容については高い評価を得たものの管理的経費節減の余地があるとの指摘により、平成22年度同拠出金予算については、平成21年度比5,000万円減の5億円になったところ。</p> <p>平成22年8月24日、民主党行政刷新PT再仕分け分科会第3WGによって行われた地球環境戦略研究機関拠出金に対するヒヤリング、現地視察を受けた結果、事業の適正さ、IGESの重要な機能を認められたものと理解している。</p>			



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	拠出金	地球環境戦略研究機関	500			
計		500	計		0	
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球環境戦略研究機関	第5期戦略研究プロジェクトの実施 ①気候変動グループ ②自然資源管理グループ ③持続可能な消費と生産グループ ④経済と環境グループ ⑤ガバナンスと能力グループ ⑥ネットワーキングと戦略的オペレーション	500	拠出金	—

